



医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 072-868-2071
URL <http://midori.jpn.org/> E-mail midorii@io.ocn.ne.jp

社会福祉法人 松樹会 枚方市交北2丁目10番1号 072-898-2197
URL <http://www.syoujukai.org/> E-mail ikoinosato@syoujukai.org

編集責任者：理事長 中村 猛
編集：季刊誌編集委員会



第70号御挨拶

理事長 中村 猛

皆さん こんにちは。

暑さ寒さも彼岸までとよく言ったもので、秋分の日も過ぎ
さしもの昼間の猛暑も朝夕が随分しのぎやすくなつてまいり
ました。

田圃の稻穂も実りの収穫に向かって頭（こうべ）を垂れ、
畦道には真紅の彼岸花（曼殊沙華）が鮮やかに秋の野に
色どりを照らしています。澄みわたつた青空と遠くはるかな
山野を眺めて大地に立つと、悠久の空間の時の流れのひと
ときの想いを感じないわけにはいられません。現実は、
この我が立つ地球に人間同士の戦争が続き、新型コロナウイ
ルスの病魔との戦いが続き、日々勃発する様々なニュース
で私達の頭は飽和状態であります。

特に今まで現役で社会の働き手の一翼を担っている方々
は、明日の自分を考え、生活の安定を計り、充実した設計
を立てるのは並大抵なことではなく、健康と良き仲間の集団
で私達の頭は飽和状態であります。

が大切であります。私は後期高齢者の道を真直ぐ進んで
いますが、如何に将来を見据え生涯を体力、知力の衰え
を如何にカバーして生きてゆくか暗中模索しております。
しかし見わたす私の仲間はすべてそうした人の道を素直に
受け止め、毎日毎日を自然体で頑張って暮らしている
訳で私もその中にどっぷりつかって、やはりこの浮
世は現実の厳しい多様なニュースが飛び交っています
が、人間が成し遂げた文化、芸術の数々、その事実に潜
む素晴らしい愛、美、誠・・・の秘めた真実の数々を
少しでも多く頭に入れたいものと思っております。
スポーツの秋、芸術の秋を有意義に、世の中にひそむ
難事を吹き飛ばして、
健康を謳歌し明るい未
来の輝く社会に頑張って
まいりたいものです。



2022年度 永年勤続者表彰

(記：人事部 高杉)

医療法人みどり会及び社会福祉法人松樹会では毎年、勤続5年の節目ごとに職務に精励してきた職員を表彰する永年勤続表彰を行っております。今年度は56名の職員が対象となり、医療法人みどり会中村病院の水谷美智代さんが最も長い40年の勤続を迎えました。

長い期間、法人に勤め貢献してくれた職員に対して、これまでの功績や頑張りを称え、記念品及び表彰状の贈呈が行われました。

10年表彰	23名	15年表彰	25名
20年表彰	6名	25年表彰	1名
40年表彰	1名		





発熱外来対応と働き方改革について

院長 高橋 輝

新型コロナも9月に第7波がようやく終息してきました。当院では、軽症・中等症のコロナ病床、ワクチン接種、発熱外来等を開設していますが、今回は発熱外来が逼迫しました。事前予約なしで受付していますが、通常の倍を超える患者さんが来院されたため、人数制限も検討しましたが、「どこも診てくれないので来ました」との声が多く、午前診・夜診とも医師を増員して対応しました。ただ、数多くの依頼の中にはお断りするケースもあり、感染対策を講じながら多様な患者さんにいかに対応するかが課題になりました。

話は変わりますが、「働き方改革」は病院にも課せられて

います。医師も例外ではなく、働き過ぎると法令違反となります。コロナ対応は医療従事者としての責務と認識し、当院の職員は今回かなり頑張ってくれましたが、これが「働き方改革」では許されなくなることも想定されます。夜診を終了する医療機関が散見されますが、これも残業抑制への対応が一因となっています。コロナだけではなく、医療制度や法令改定でも医療現場は厳しい状況です。まだまだ至らない点が当院にもありますが、職員一同努力して参りますので、引き続きご支援頂きますようお願い申し上げます。



医療機関におけるサイバーセキュリティについて

情報室主任 坂口翔太

身代金要求型のコンピューターウィルス「ランサムウェア」等のサイバー攻撃を受ける医療機関が後を絶ちません。2022年7月には民間病院で11万人の個人情報を流出した可能性があると発表がありました。

中村病院では昨今の状況を鑑みて病院内にてサーバーを管理する「オンプレミス※1」からネットワークを通じてクラウド上にあるデスクトップ環境で電子カルテシステムを利用する「DaaS※2」というクラウドサービスを利用する事に変更しました。このクラウドサービスでは一般的なクラウド型電子カルテシステムと異なり本来であれば、データは個々のPC・サーバに情報が保存されていきますが、「DaaS」では病院内にデータは保存されず、最高評価を受けているデータセンターで管理をする事になります。

インターネットへ接続されているウェアラブル端末が増加(IoT化)している中で、サーバーセキュリティ対策もより高度な技術が必要となってきています。中村病院では安心

してより質の高い信頼される医療サービスを提供する為に個人情報、電子機器の取扱い方法について、全職員に対して徹底を図って参ります。

※1 オンプレミス：サーバーやソフトウェアなどの情報システムを、使用者が管理している施設の構内に機器を設置して運用すること。

※2 DaaS：コンピュータのデスクトップ操作画面をネットワークを通じて遠隔の端末へ提供するサービス。



80列マルチスライスCT装置を導入して

放射線部 課長 米田明生

CTとは、Computed Tomography（コンピューター断層撮影）の略です。

X線を発する管球とX線検出器がドーナツ状の架台内を回転しながらデータ収集し、人体の輪切り画像をコンピューターによって再構成するレントゲン装置です。

従来の装置は、X線を受ける検出器が1列しかなかったために、X線管球が人体の周りを1回転するにつき、1枚の輪切り画像しか得ることが出来なかったのに対して、最近では、この検出器を2列、4列、8列、16列、32列、64列・・・と多列化することによって、1回転で複数枚の輪切り画像を得ることが可能になりました。

ちなみに当院のCTでは1回転で80枚の画像が撮影できます。

従来よりも短時間で広い範囲を撮影をすることが可能となりました。

また、最新のAI技術を利用した再構成法を採用し、高画質と患者様の被ばく線量低減を両立させ、特に幼児や経過観察にて複数回CT撮影を行う方への配慮も行っております。

患者様からは、以前のCT装置より、息を止める時間が短くなり、楽になったと、高い評価を頂いております。



m ご利用者に途切れのない栄養ケアを

なごみの里 栄養課 課長代理 小野理恵

なごみの里 QR



私が所属するみどり会と、姉妹法人松樹会には、10名の管理栄養士が在籍しており、患者様やご利用者を栄養面からサポートしています。具体的には、個々の身体の状況、栄養状態、利用の状況等に合わせた給食管理と栄養改善や、療養のために必要な栄養食事指導を行っています。

一昔前までの管理栄養士は、患者様やご利用者と接する機会が少なく、厨房の中で給食管理に殆どの時間を費やしていた現場が一般的でしたが、徐々に本来求められている管理栄養士の役割が必要とされるようになってきました。そもそも高度経済成長期の時代に、食べ物と健康に関心が集まり、食生活で体質改善を行ったり、病気の治療につなげたり、予防も含めた食生活全般についての専門性を求めて誕生したのが管理栄養士です。

管理栄養士の配置数は、他のコメディカルに比べて少ないのが実状です。その上、他の業務も多く、栄養管理にあた

れる時間が十分にとるのが難しい現場も少なくありません。

そのような中で、みどり会、松樹会のように複数の施設を運営している法人では、関連施設の栄養課で情報を共有し、連携をとりやすい環境下にあるので、ご利用者の栄養状態や食事観察で得られた独自の情報を知った上で引き続きサポートすることは、栄養管理を途切れなく行えるという意味でも有用だと考えます。病院・施設・在宅と違う環境でも栄養面は安心して過ごしていただけるように、法人の栄養課の一員として努めています。



m 高齢者施設の看護師として

サテライトなごみの里 看護主任 畑中恵美

サテライトなごみの里 QR



昨年10月にサテライトなごみの里に異動となりました。

18年前に中村病院に入職し、一般病棟、療養病棟、回復期リハビリテーション病棟と多くの経験をさせていただきました。

これまでの病棟での経験を活かし施設で生活するご利用者に寄り添った看護がしたいと思うようになりました。

施設を利用される方の目的は様々です。病院を退院された方が在宅で以前のような生活に戻れるのか不安を感じていたり、介護するご家族にも不安があると、施設に入所して生活の中で、出来ること、1人では困難なことなどを確認しながらリハビリを行い、元の生活に戻れるよう支援していきます。

また、在宅で生活している方でも、介護するご家族の予定や、介護負担の軽減を図るために短期利用される方もおられます。

入所されると、ご利用者を知ることから始まります。病態、既往歴、身体面、精神面、摂食、排せつ、睡眠などを観察します。今のコロナ禍で施設での過ごし方も様変わりしていますが、以前はご家族ともコミュニケーションが図れ、面会も

できていたので、退所に向けてのお話し合いや、施設での様子も見ることができていたので、ご利用者も、ご家族も安心だったと思います。

平穏に過ごせているときはいいのですが多くの高齢者は臓器の低下や認知、身体機能の低下によって体調を崩しやすく、自覚症状の訴えがないこともあります。状態が悪いのか、受診をするべきかの見極めは現場にあります。夜間に関しては介護士しかいないので、医療処置（吸引、点滴、酸素など）はできません。ですから状態悪化を未然に防ぐためにも、ご利用者を把握し、異常の早期発見に努めることが重要だと考えています。その為には、普段より多職種で情報共有し、少しの気づきに耳を傾け、自分の目で確かめ、看護しなくてはならないと想っています。



在宅支援

m お元気ですかアンケートについて

枚方市地域包括支援センターみどり 所長 伊内康宏

包括みどり QR



令和4年4月から枚方市地域包括支援センターで、保健事業と介護予防の一体的実施が実施されています。

その取り組みの一環で、過去1年間に健康診査や医療機関等へかかるおられない75歳以上の枚方市民の方へ「お元気ですかアンケート」を市から送付しております。

このアンケートにて、高齢者の健康状態を確認させていただき、必要に応じて枚方市の事業への接続を行うものです。

アンケートのご返送が無い場合は、お住いの地域を担当する地域包括支援センターの職員がご家庭にお伺いすることができますので、事業へのご協力の程、よろしくお願ひいたします。

高齢者の皆さまが、地域で健やかに自立した生活ができる期間を少しでも伸ばせるように今後とも取り組んでまいります。



いこいの里 新棟開所から一年を迎えて いこいの里 介護副主任 福山恵美

いこいの里 QR



一年を振り返ると、開設準備から何もわからず職員とペン1本から揃え始めました。

入居者様の面談もさせて頂き、どの部屋にするかまで、全て決め、とてもいい経験になりました。一つ一つの決め事を大切にし、他職種と連携を取り築き上げ、今は30床で満床に至ります。

面談の思い出は、ご自宅に伺い、本人様に挨拶をさせて頂くと門前払いされ、なかなか話も聞いて頂けず、一度施設へ戻り、本人様が納得され、ご自分の意思でいこいの里へ来て頂くのを待つ事にしました。今では「今日も泊まっていいねんなあ?」と仰り、とても穏やかに過ごされています。

介護をするにあたり、必ず傾聴、寄り添い、時には優しい言葉が必要と再確認できました。普段ならいつでも自由に面会が出来るはすが、コロナ禍での開設である為、家族様と触れ合う

事が出来ず、期間限定でのリモート面会や窓越しでの面会になってしまい、ご利用者も不安でいっぱいの事と思います。家族様には、毎月写真付きのお便りを送らせて頂き、元気な姿をお届けしています。

私たちにできる事は、1日1回でも多く笑顔を出して頂き、そして1日1回でも多く名前を呼ばせて頂き、「ここに居ても良いんだな」「ここに居て安心!!」と思って頂ける様、頼もしい職員達とこれからも頑張ってケアに努めて参ります。



笑顔いっぱい 敬老祝賀会

たんぽぽ田口 管理者 福本悦子

たんぽぽ田口 QR



敬老の日を迎えた皆様へ、心よりお祝い申し上げます。

今年も松樹会各施設で「敬老祝賀会」がおこなわれました。どの施設も工夫を凝らして皆様に楽しんで頂きました。

たんぽぽ田口では、お箸袋や敷き紙を、ご利用者と共に事前準備し、お寿司定食に花を添えました。午後からは、スタッフによる手品やクイズショーにて、笑顔溢れる敬老祝賀会となりました。これからも健康で健やかにお過ごし下さい。



みどりの館 QR



みどりの館 スタッフの紹介

上田 まさみ

みどりの館に入職して2年半くらい経ちます。日頃はコンシェルジュとしてご利用者の食事の準備などを中心にお手伝いさせて頂いております。みどりの館の余暇活動として、当ホームの屋上で季節の草花を入居者様と一緒に育てています。どなた様でもご遠慮なく見学に来ただけたらと思います。

私自身は心身のリフレッシュのため、休日には登山に出掛けることもあります。登山の醍醐味は私でも登れたという自信と達成感。それとよく言われる「登った人しか見ることが

できない絶景」、あと平地では見れない高山植物に会えることでしょうか。

登山に興味のある方はお気軽に声をかけてくださいね。



各施設連絡先

社会福祉法人 松樹会

特別養護老人ホーム いこいの里 072-898-2197
デイサービスセンター いこいの里 サテライト いこいの里 072-849-2210
特別養護老人ホーム いこいの里 藤阪 072-868-2192
特別養護老人ホーム いこいの里 長尾 072-868-1893
ケアハウス つくしんぼ 田口 072-868-2190
デイサービスセンター 長尾 072-868-2191
ケアハウス つくしんぼ 藤阪 072-868-2197
グループホーム たんぽぽ 田口 072-898-2193
小規模多機能ホーム ふじ 072-868-2193
看護小規模多機能ホーム ながお 072-868-1894
居宅介護支援センター つくしんぼ 072-898-2196
障害福祉サービス ミルキーウェイ 072-867-5690

医療法人 みどり会

中村病院 072-868-2071
中村記念クリニック 072-868-2070
介護老人保健施設 なごみの里 072-868-2072
サテライトなごみの里 072-818-2071
デイサービス 長尾の里 072-818-2071
有料老人ホーム みどりの館 072-868-2727
グループホーム たんぽぽ 長尾 072-868-2195
ケアプランセンター なごみ 072-818-7533
訪問介護ステーション みどり 072-868-4392
地域包括支援センター みどり 072-845-2002
研修所 みどりの樹 0264-44-2550

ルーク山田眼科 072-868-0880

編集後記

みどりの風第70号(秋号)発刊させていただきます。ご一読の程お願い致します。
経営者、管理者にとって組織として計画を実行するにあたります重要な要素としては、発信力、言葉の力が必要になってきます。

私が尊敬する松下幸之助氏が実践してこられた5つの法則、を紹介させていただきます。

経営とは人に動いてもらう仕事であるとおしゃられています。

法則① 腹の底から出た言葉である。

法則② 平易、かつシンプルである。

法則③ 理想ではなく、理念を語っている。

法則④ 「言」ではなく「動」が先である。

法則⑤ 人間の矛盾が内包されている。

ご参考まで。※フレジメント9月号より引用
今後ともみどりの風編集委員会一同頑張って参りますのでよろしくお願い致します。

みどりの風編集委員会

連絡先 ☎072-868-2071 法人本部 松田